

ショートステイ（広瀬の里）

利用者が可能な限り住み慣れた自宅での生活が継続できるよう、個々の生活リズムに合わせた支援を行い、利用者・家族のニーズや意向に沿ったサービスの提供に努め、利用者の自立支援と介護者の負担軽減に繋がる支援を行っていきます。また、地域社会への貢献を目的とし地域の方々に信頼される施設となるよう取り組んでいきます。

1. 在宅生活の継続支援

- （１）家族や家庭から離れる心理的不安や負担がない様、利用者・家族・担当介護支援専門員等と綿密に連絡調整を行い、日々の心身の状況や健康状態の把握に努めます。また、医療的管理が必要な利用者に対しては、迅速に対応できる体制を整え、安心かつ適切なサービスの提供に努めます。
- （２）個々の身体状況や精神状態等に応じた質の高い介護サービスを提供し、利用者の介護事故防止の為、安全を最優先とした介護を実践します。利用者の病状等に急変、その他緊急事態が生じた時は、必要な措置を講ずると共に、家族・担当介護支援専門員に速やかに連絡し状況説明を行います。

2. 介護者の負担軽減

- （１）在宅において、家族の冠婚葬祭、急病、介護疲れ等、一時的に介護ができない時には、介護者に代わって介護サービスを提供し、安心して在宅生活が継続出来るよう支援します。
- （２）サービス利用時の詳細な情報を提供します。また、介護保険の制度に関する相談・援助業務の充実を図ります。

3. ケアの充実と質の向上

- （１）接遇面において、職員の言葉遣いや態度に細心の注意を払い、質の高い接遇を行う事で、利用者・家族の信頼を得て利用の継続に繋げていきます。
- （２）音楽療法やリハビリ体操、季節の行事等、利用者が楽しみながら心身の活性化に繋がるサービスを提供し、利用者・家族へ行事写真の配布を行います。
- （３）利用者や家族からの苦情は真摯に受けとめ、直ちに事実関係を確認し、誠意を持って対応します。
- （４）生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他、行動を制限する行為は行いません。やむを得ず身体拘束を行う場合には、その様態及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録し、その内容について、家族に書面にて同意を得ます。

4. 緊急時の受け入れ

- （１）緊急的なショートステイの利用依頼に対しては、各部署との綿密な情報共有を行い、迅速な判断と対応をします。
- （２）行政・家族・担当介護支援専門員からの緊急な要請（虐待や災害等）に対し、柔軟に対応します。

5. 広報活動による利用の推進

- （１）地域の居宅介護支援事業所等へ事業所の案内を行います。
- （２）現利用者の利用継続や新規利用者の開拓を目的に、ホームページや機関誌を通して情報発信を行います。

6. 感染症対策

- （１）利用開始時の体温確認や来所時の手洗い・手指消毒を徹底し、利用中の体調管理を行います。
- （２）家族・担当介護支援専門員・他事業所と連携を図り、感染症に対する情報を共有し、施設の感染症対策に沿ったサービス提供を行います。